

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回福津市公民館運営審議会	
開催日時	令和6年11月1日(金) 13時30分から15時45分まで	
開催場所	福津市中央公民館2階 研修室4	
委員名	出席委員：安德尊博、幸坂由恵、高木陽一郎、佐藤香奈子、 増井久美子、漆谷慎一、田島勝彦	
所管課職員職氏名	郷育推進課長：芹野文彦、中央公民館長：徳永理恵 公民館係長：瀧口純一	
会 議	議 題 (内 容)	議 案 (1) 中央公民館の機能の再定義・再配置について
	公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	1人
	資料の名称	・ 会議次第 ・ 令和5年度福津市中央公民館ホールに係る収支実績 ・ 福津市公共施設等総合管理計画 概要版
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法：会長による確認	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 会長挨拶

2. 議題

（1）中央公民館の機能の再定義・再配置について

議長：前回の審議会では、アンケート調査の結果等も踏まえながら、協議を行いました。今回は、前回の協議をもとに答申案を固めていきたいと思いますが、それに先立って、前回、事務局をお願いしていました資料等について、事務局からの報告をお願いします。

事務局：前回の審議会で、「福津市公共施設等総合管理計画」、昨年度のホールに係る収入及び費用の金額、また、舞台の照明や吊り物を撤去する費用についても、概算で良いので示してほしいとのことでした。

そして、ホール機能を統合した後、削減した予算を基金のような形で運用することができるのかどうかについて、財政部局に確認しておいてほしいということでしたので、ご報告いたします。

まず、「福津市公共施設等総合管理計画」についてですが、公共施設等の長寿命化を図るとともに、管理方針や施設類型ごとの基本方針、公共施設の再配置方針を示し、社会情勢の変化に対応して、公共施設を活用することを目的としています。当計画は、令和5年3月に改訂しており、令和5年度から令和34年度までの30年間を計画期間としています。課題として大きく3つ、施設の老朽化、更新費用の増加、更新時期の集中を挙げており、計画期間に、建築系公共施設の更新費用の20%削減を目標としています。施設類型ごとの基本方針について、中央公民館を含む社会教育施設は、将来的な建て替えのタイミングで、他の施設との集約化、複合化を含め、施設のあり方を検討することとしています。また、中央公民館のホール機能の再定義と活用策について、検討することとなっています。

次に、ホールに係る令和5年度の収支についてです。ホール利用に関する収入は1,208,390円で、施設使用料の収入全体額の約30%を占めています。支出ですが、全額がホールの経費となるものは8,097,945円、施設全体に係る経費で、一部がホールの経費となるもの（ホール分のみを切り分けるのが困難な経費）が28,514,046円となっています。ホールに係る支出額が収入額を大きく上回っている状況です。

なお、照明及び舞台の吊り物を撤去する費用については、約13,000,000～14,000,000円かかる見込みです。

また、ホール機能統合後に削減できた経費を基金のような形で運用できるかどうかについて、財政部局への確認したところ、「できない」との回答でした。前回、お配りしております第3次福津市行財政改革大綱の「はじめに」の15行目のところに「業務の改善や歳出の削減により、新たな事業に投資するための人的資源や財源を生み出し、最終的に市民サービスの向上につなげることが目的」と記載があります。「今後、中央公民館での事業が他の事業よりも優先度が高いということになれば、中央公民館での事業に予算が付くこともあり得る」とのことでした。

議長：事務局からの報告について、ご質問のある方は、お願いします。

委員：福津市公共施設等総合管理計画について、質問があります。冊子の11ページの推進体制のところ、一体的にマネジメントをする部署として、公共施設マネジメント推進本部があり、それを実施する部署として、公共施設マネジメント系の立ち上げを検討すると記載されていますが、これらは、既に立ち上がっているのでしょうか。立ち上がっていないとすれば、いつ頃、立ち上げの予定であるのか、お聞きしたいと思います。

事務局：組織的には、令和5年度から、総務部管財課の係として、公共施設マネジメント係とい

うのが組織され、立ち上がっております。今、その係は、包括管理の方に力を注いでいる状況であり、今後、公共施設をどのようにしていこうかという話し合いまではできていない状況です。

委員：推進本部はどうですか。

事務局：「公共施設マネジメント推進本部」を立ち上げると記載がありますが、市の公共施設を統括する係として、公共施設マネジメント係が組織され、例えば、この公民館をどうするかという案件が出てきたときに、その係が推進本部の事務局となって、横断的に担当課長や担当係長などを集め協議し、庁内横断的な意思決定や調整を図る場である経営会議や庁議などに諮り、最終決定していく形になろうかと思えます。

委員：分かりました。

委員：ホールに係る収支実績の報告を受けて、ホール担当者人件費の金額が大きいと感じました。このホール担当者は、どのような仕事をされているのですか。

また、基金はできないという根拠として、第3次福津市行財政改革大綱の「はじめに」の15行目のところに「業務の改善や歳出の削減により、新たな事業に投資するための人的資源や財源を生み出し、最終的に市民サービスの向上につなげることが目的」と記載があることを挙げられましたが、基金ができない理由との相関がよく分からなかったので、もう一度、説明していただけませんか。

事務局：ホール担当者の業務についてですが、基本的に、週5日勤務となっております。ホールで演奏会、発表会等が開催される際に、音響や照明等の機器の操作を行っています。また、日常的な業務としては、ホールの照明や音響機器の点検、ホール利用者との事前打ち合わせ等を行っています。事前打ち合わせでは、利用日当日の照明の色合いや当て方をどのようにするのか、音響をどのようにしたいのか確認し合い、当日までに、それぞれの機器にセッティングする仕込み作業や照明の角度調整など、本番に向けての準備などを行っています。

次に、基金についてですが、第3次福津市行財政改革大綱の「はじめに」は、費用削減できた分は、新たな事業に投資するための人的資源や原資を生み出すと記載しています。市の事業全体として、今後も市民サービスや諸々の経費に充てないといけないところが色々出てくるので、現時点で、中央公民館の他の事業のために積み立てる、お金をしておくというのはいけないということです。

委員：分かりました。

議長：市としては、費用削減できた分は、新規事業だけでなく、市全体として、一番必要な事業に投資するという考えということですか。

事務局：はい、そうです。

議長：他に、ご質問はありませんか。

委員：前回の審議会で、ホール機能を統合した後、ホールを有効活用するか、有効活用しないかという選択肢の中で、審議会としては、有効活用するという事で合意したと思えます。答申もその方向性で進めていくという理解でいいでしょうか。

委員：私は、ホール機能の統合後は閉鎖して、削減できた資金は他の事業に回した方がいいと思っています。また、使用料ですが、支出を賄えるぐらい上げることを検討してもいいのではないかと思います。

議長：(委員全員で多数決をとり、審議会としては、ホールを有効活用するという方向性で答申することを再確認した。)

委員：収支のバランスを考えて、値上げはありだと思のですが、ただ全く閉鎖してしまって、何も使わないというのはどうかと思います。市の施設として、避難場所になるというのは

大きなメリットなので、その部分だけでも使えるようにしておかなければ、公民館である意味はないのかなというのがあります。アンケート結果でも、避難所として機能してほしいという声も挙がってきていますし。

委員：もし、有効活用する場合は、使用料収入で支出を賄えるよう使用料を見直すのがいいのではないかと考えます。

議長：今後の活用について、具体的な計画として公表できる時期はいつ頃になりそうですか。

事務局：ホールは1年前から予約できることを考えると、令和7年度末でホール機能を統合するのであれば、7年度当初には閉鎖しますというお知らせをしないとイケません。答申をいただいたら、教育委員会や市の執行部に報告し、ホール機能の統合後の活用について、来年度いっぱいかけて、市役所内部で協議を重ねていくことになるかと思えます。閉鎖しっぱなしにしない限り、舞台の照明等を下ろすにしても予算確保が必要になりますので、具体的な計画を公表できるのは、一番早くても令和8年の3月議会後になるかと思えます。活用内容によっては、もっと時間を要するかもしれません。

議長：第一段階は、来年の春には、令和7年度末には閉鎖する旨についてお知らせをし、閉鎖した後、市民の皆さんに、有効活用（案）についてお伝えできるのは、予算確保も必要なので、かなり先の話になるということですね。

議長：他に、何かありませんか。ないようでしたら、審議会としての意見をまとめていきたいと思えます。本日、私の方で、答申案を準備してきております。その答申案をたたき台にして、この場で意見を出し合い、答申案の肉付け等していきたいと考えています。皆様、よろしくお願いします。

委員：（答申案を基に、各自の意見を出し合う）

議長：本日、答申案について、表現等を含め、皆様から色々ご意見をいただきました。次回の審議会までに、いただいたご意見をできるだけ反映させた答申（案）を送付したいと思えます。そして、次回は、答申の最終調整を行い、審議会としての答申を行う予定です。皆様、よろしくお願いします。

（2）その他

特になし

議長：次回の審議会ですが、この場で日程調整を行いたいと思えます。（皆さんの予定を確認した結果、）次回は、1月24日（金）13時30分～とし、会議場所については、後日、開催通知の中でご案内させていただきます。それでは、本日予定の議事は、全て終了しましたので、議事進行を事務局にお返しします。

事務局：これもちまして、令和6年度第3回公民館運営審議会を終わります。ありがとうございました。